

薬剤耐性（AMR）対策研修会開催要領

1. 目的

ヒトに対する抗微生物薬の不適切な使用等を背景として、「薬剤耐性（AMR）」について、国際社会で懸念が広がり、平成27年のWHO総会でAMRに対するグローバルアクションプランが採択された。

我が国でもAMR対策を推進することを目標として、「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン（2016-2020）」が平成28年4月にとりまとめられ、とりわけ、抗微生物薬の適正使用については、薬剤耐性対策として、日頃の臨床の現場で医療従事者及び患者を含む医療に関わる全ての者が対応すべき最重要の分野の一つとしている。

平成24年の診療報酬改定で感染防止対策加算が導入され、院内感染対策の推進と医療機関同士の連携が求められるようになったことを受け、当県においても、島根県院内感染制御ネットワークが立ち上げられた。

現在のところ、加算医療機関については取り組みが進んでいるが、加算の無い医療機関は、院内感染対策と他機関連携に対する取り組みが遅れており、必要な対策を講じることが課題となっている。

については、島根県全体のAMR対策推進に繋げるため、まずは出雲圏域の開業医等を対象に抗微生物薬の適正使用等について研修を行う。

2. 主催

島根県出雲保健所

3. 共催

島根県院内感染制御ネットワーク

4. 対象者

出雲圏域の診療所及び病院の医師等

5. 開催日時、場所

日時：令和2年1月27日（月） 19時半～21時

場所：出雲医師会館 大ホール（出雲市塩冶有原町2-19-3）

6. 内容

（1）薬剤耐性（AMR）の現状と対応

【内容】薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン（2016-2020）解説等

【講師】島根大学医学部附属病院 院内感染対策チームリーダー 佐野千晶医師

（2）医療機関における抗微生物薬の適正使用について

【内容】「抗微生物薬適正使用の手引き」解説

各論編「呼吸器」「尿路感染症」

【講師】島根県立中央病院 感染症科部長 中村嗣医師

（3）島根県院内感染制御ネットワークについて

【内容】島根県院内感染制御ネットワークの紹介

【講師】島根大学医学部附属病院 院内感染対策チームリーダー 佐野千晶医師